



ii!! TAC 通信

No.22 平成29年4月1日
【発行】JAこまち
担い手推進課
TEL:0183-78-2244

安い資材にするだけが

コスト低減ではありません!!

特別対策品目『元肥まくモン』使用の留意点

平成 29 年度特別対策品目として「まくモン」が設定された事により、昨年度と比較すると購入者が増加傾向にあります！そこで新年度一発目の TAC 通信では「まくモン」利用者の声をまとめながら、使用する際の留意点を紹介していきます！



- ・初期生育に物足りなさを感じた。
- ・思っていた以上に早く葉色が落ちた。
(→砂地の圃場だと葉色は早く落ちる…?)

- ・15kg 規格の大きさが良い！
- ・運びやすく、使い勝手がいい！
- ・場所も取らず、保管場所に困らない！
- ・色落ちなく順調に生育した！
- ・追肥も必要なく、労力軽減になった！
- ・収量、品質ともに問題なく、満足！



良くも悪くも様々な声が各地区から上がっていますが、利用者の多くは満足のいく結果を収めているようです。基本的に 10a あたり 2 袋を目安として投入する事が望ましいですが、思っていた以上に早く葉色が落ちる圃場では量を調整する必要があります。現在使用している農家の方がどのように対応しているのかをまとめました。しかし、あくまでも事例ですので全ての圃場にあてはまる訳ではありませんので注意が必要です！

29年度から肥料・農薬注文書に設定された**特別対策品目**は、コスト低減が期待される資材ですが、労力・コスト低減を考えるうえで気を付けなければならないことがありますので、下記を確認し低コスト農業を実現しましょう。

○目標とする販売額(所得額)を設定する

安い資材を使って、収量・品質が落ちてしまつては本末転倒

○自分の圃場の状況を良く観察し適切な対処(資材)を考える

たとえば…

水持ちの悪い圃場で雑草が残り高価な後期剤を使用している

→(畦畔の整備や丁寧な代掻き等で水持ちが良く除草剤の効く圃場にする)

効果のない雑草に、除草剤を何度散布してもコスト・労力の無駄

→(自分の圃場の雑草にあった除草剤を選ぶ)

○自分が持っている労働力を考慮する

安価な資材を購入し、後の作業等に多く時間と労力を費やすのはコスト低減か？

たとえば…

安価な粒剤を購入し、散布に多くの時間と労力(人件費)をかけている

→(豆つぶ剤やジャンボ剤により時間と労力の低減)

大型規格を購入し小分け作業に時間と労力がかかる

→(高価でも小規格のほうが結果として安価な場合も)

※自分の労力や圃場を理解し、条件にあった資材を

選択し、失敗しないことが低コスト農業への第一歩